

2025年12月26日

「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について [株式会社アート建工]

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）では、「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 案件概要（「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は【別紙1】をご参照ください）

| | |
|-------------------------------------|---|
| 融資実行日 | 2025年12月26日 |
| 融資金額 | 3億円 |
| 融資期間 | 5年 |
| SPT (サステナビリティ・ パフォーマンス・ターゲット) | ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）受託率 |
| その他 | サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性およびSPTの合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン【別紙2】を取得しております。 |

2. 企業概要

| | |
|-------|-----------------|
| 会社名 | 株式会社アート建工 |
| 所在地 | 鳥取県米子市両三柳255番地8 |
| 代表者 | 魚谷 宗司 |
| 業種 | 建築工事業 |
| 事業内容等 | 分譲住宅・戸建住宅の設計・施工 |

以上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しております。

【SDGs（Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採抱された、経済・社会・環境のあり方についての
2030年までの世界共通目標。持続可能な開発のための17の目標と169
のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行
営業企画部 法人企画室
TEL (082) 247-5151 (代表)

【別紙 1】

「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の 2 商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

| | |
|------------------|--|
| サステナビリティ・リンク・ローン | <ul style="list-style-type: none"> ・「温室効果ガス排出量削減」もしくは「ZEH 比率向上」に関する目標を設定（目標達成の場合、金利引下げを実施） ・設定目標等にかかる外部レビューと年 1 回のレポートингが必要 |
| グリーンローン | <ul style="list-style-type: none"> ・国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象 ・年 1 回のレポートингが必要 |

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

| 商品名 | 〈ひろぎん〉サステナブルローン | |
|--------|--|---------------------|
| | サステナビリティ・リンク・ローン | グリーンローン |
| 取扱店 | 全店 | |
| 対象となる方 | 以下のすべてを満たす法人のお客さま ・温室効果ガス排出量の削減もしくは ZEH 受託率引上げを目標として設定 ・外部レビュー※、年 1 回のレポートинг（銀行への進捗状況報告）を実施 <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small> | |
| お使いみち | 運転資金・設備資金 | グリーンプロジェクトにかかる設備資金 |
| ご融資金額 | 50 百万円以上 | |
| ご融資期間 | 2 年以上(固定金利は 10 年以内) | 1 年以上(固定金利は 10 年以内) |
| ご融資利率 | 当行所定の金利 | |
| ご融資形式 | 目標達成の場合、金利引下げ※実施 <small>※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます</small> | — |
| ご返済方法 | 当行所定の審査によります | |
| 担保・保証人 | | |
| 取扱手数料 | 組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります | |

株式会社アート建工 (ひろぎん)サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2025年12月26日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は、株式会社広島銀行（以下、「貸付人」という）と株式会社アート建工（以下、「借入人」という）の間のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」という）について、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したるものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. 借入人とサステナビリティ

(1) 会社概要

借入人は、鳥取県米子市に拠点を構える住宅・不動産企業である。注文住宅や分譲（建売）住宅の設計・施工・販売のほか、不動産の売買・賃貸・仲介・管理、分譲地開発、リフォーム、さらにクリニックや店舗、福祉施設といった非住宅建築、土木工事請負まで手がけ、多角的に事業を展開している。鳥取県・島根県を中心とした地域密着型の工務店として、木造軸組工法を採用した「山陰の気候風土に適した」住まいづくりを実践。高断熱・高気密・高耐震性能を備えた住宅を標準仕様とし、省エネ性や快適性、耐久性に配慮した「高性能住宅」を提供している。



(資料) 借入人ウェブサイトより抜粋

| | |
|------|--|
| 企業名 | 株式会社アート建工 |
| 代表者 | 代表取締役 魚谷 宗司 |
| 所在地 | 鳥取県米子市両三柳255-8 |
| 設立 | 1985年4月 |
| 資本金 | 4,900万円 |
| 従業員数 | 150名（2025年11月時点） |
| 事業内容 | 注文住宅の設計・施工・管理、分譲住宅設計・施工・管理ならびに販売、リフォーム工事の設計・施工・管理、不動産の売買・賃貸・管理・仲介建築・土木工事の請負、建築および土木工事に関する設計および監理 上記各号に付帯するいっさいの事業、街づくり（分譲地開発） |



(2) 事業内容

借入人は、山陰地域の気候風土に適した「山陰スタンダード」を標準とし、木造軸組工法を採用することで高い耐震性を確保している。外壁や天井などを高性能断熱材で包み込み、高断熱サッシを用いることで、快適性と省エネ性を両立した高気密・高断熱住宅を提供している。また、土地探しから設計・施工、引き渡し後のアフターサービスまで一貫対応し、長期に安心して暮らせる住まいづくりを実現している。

【「山陰スタンダード」の4つのポイントとモデルハウス（一部抜粋）】



01 雨や雪のストレスを減らす工夫

雨の日でも濡れずに開け閉め・施錠ができる玄関、建物の劣化を防ぐ最適な深さの軒、除雪の負担や落雪のリスクを減らすスレート屋根など、独自の工夫を散りばめています。



02 明るく暮らせる窓のかたち

全国どこでも同じ窓を提案する大手住宅会社とは異なる視点から、山陰エリアの日射を科学的に解析。さらにそれぞれの敷地の条件を読み解きながら、1年を通じて心地よい光を感じる窓のサイズ、方角、高さ、形状を導き出しています。



03 パルコニーレスで室内を広く

雨・雪が多い山陰ではほぼパルコニーが使われていないことを突き止め、パルコニーレスを標準化。その分、室内空間を広くする設計は、アート建工オリジナルです。



04 家事の負担を軽やかにする設計

お子さんがいる共働きご家庭が多い。晴れの日が少なくてPM2.5、黄砂、花粉の飛散量も多い……炊事、掃除、洗濯の負担が大きくなりがちな環境の中でも軽快に暮らせるよう、パントリーやドライルーム、土間収納、家族用玄関などを独自に設計しています。



(資料) 借入人ウェブサイトより抜粋



(3) サステナビリティ

借入人は、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念に賛同し、SDGsの達成に向けて積極的に取り組んでいる。

**株式会社アート建工
SDGs宣言書**



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年5月1日

株式会社アート建工
代表取締役 魚谷 宗司

◆経営方針
“山陰から日本の住まいをよりよく”

◆目指す姿
地域密着型工務店として

- 1. 地域に根ざした『住みやすく快適な街』をつくる。
- 2. 山陰の地を魅力あふれるエリアとして創造する。

SDGsの達成に向けた取り組み

障がい者雇用のサポート

自社の建築技術とネットワークを活用して障がいの方方が安心して生活できる環境を提供します。

<具体的な取り組み>

障がい者の住居環境の提供／福祉事業者との連携による「障がい者」自立支援／障がい者の家族が安心できるサポート体制の運営及び拡充

— 関連ゴール —

3 すべての人に
より良い健康を
10 人や社会を
よりよく
11 住みやすく
快適な街をつくる
16 つくる
ための
資源を

より良い働きがいに向けた取り組み

社員ひとりひとりが仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる職場環境を目指します。

<具体的な取り組み>

成果に応じた公平な評価体制／様々な能力や情熱を持った人材採用／雇用形態や拠点にはこだわらない、リモート、多拠点勤務、ワーケーションを含めた多様な働き方の導入／従業員のキャリア形成に向けた選択肢と挑戦の機会提供

— 関連ゴール —

8 経済を
よりよく
10 人や社会を
よりよく
12 つくる
ための
資源を

くらしの提案と教育の貢献

自社のリソースを最大限に活用し、地域の教育に貢献する活動を行なっています。

<具体的な取り組み>

住宅関連のイベント企画・運営／モデルハウス見学会／ライフスタイルコンテスト開催／学生、住宅アイデアコンペティションの実施／地域のスポーツ振興、イベントへの参加・協賛

— 関連ゴール —

4 住まいの
質を高め
る
7 エネルギー
を効率的
に利用す
る
16 つくる
ための
資源を

地域経済の発展に向けた取り組み

地元に根付いた快適で住みやすい街づくりに取り組みます。

<具体的な取り組み>

住宅事業、福祉事業を統率してシナジー効果向上と事業効率化を図る／各事業の役割分担を明確化することで更なる事業拡張とお客様満足度向上を目指す／同じ夢（目標）に向かっている地域企業との協業・ジョイントをデザインする

— 関連ゴール —

8 経済を
よりよく
9 未来の
資源を
つくる
11 住みやすく
快適な街を
つくる
17 つくる
ための
資源を

SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

(資料) 借入人提供



また、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス：外皮の高断熱化および高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギー等により年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅)受託率向上に向けた取り組みを行うことで、環境汚染や地球温暖化の防止、経済性と快適性を備えた高い断熱性能を有した、持続可能な家づくりに取り組んでいる。



快適・省エネ性

家の中の温度が18℃未満になる場合、健康上深刻なリスクがあることがわかってきています。アート建工では断熱性能を高め、省エネ設備を標準採用することで冬季の暖房負荷を50%以上削減し、省エネと快適な環境を維持できる住宅を実現しました。

室温の差で健康診断結果にも差が



足元が冷えると通院人数も変化



引用元:「『省エネ住宅』と『健康』の関係をご存知ですか?」
一般社団法人 日本サステナブル建築協会

ZEH普及目標割合

| 実績 ZEH棟数割合(Nearly ZEH含む) | | | | | | | 目標 ZEH棟数割合 (Nearly ZEH含む) |
|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 新築 | 76% | 62% | 41% | 34% | 35% | 40% | 75% |
| 既存 | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% | 50% |

*アート建工(トコスホーム)が新築するすべての戸建住宅棟数(注文住宅及び建売住宅)においてZEHが占める割合

(資料) 借入人ウェブサイトより抜粋



2. KPIの選定

(1) KPIの概要

借入人はKPIとして、「ZEH受託率」を選定した。ZEH受託率とは、借入人が受注する住宅戸数のうち、ZEHが占める割合を示したものである。なお借入人は、2016年度にZEHビルダーに登録されている。

(2) KPIの重要性

KPIの「ZEH受託率」を高めることは、2050年カーボンニュートラルを目指すにあたりきわめて重要な分野であり、借入人のサステナビリティ経営に重要な意味を持つ。

(3) 経営方針とKPIの関係

借入人は、ZEHを標準仕様の一つとして明示し、将来的な普及目標を設定しており、ZEHは短期の「オプション提案」ではなく、中長期の「住宅性能の柱／企業価値の基盤」と捉えていると考えられる。また、前述の「SDGs宣言」では、「地域経済の発展に向けた取り組み」をテーマに掲げ、地元に根付いた快適で住みやすい街づくりに取り組む方針を明確にしている。

こうした取り組みを鑑み、本KPIは借入人が掲げているサステナビリティ経営に合致したものであるといえる。

(4) KPIの有意義性

本ローンにおいて設定するKPIである「ZEH受託率」は、我が国が掲げるエネルギー政策および脱炭素化戦略との整合性が高く、社会的意義の大きい項目である。

ZEHの普及は、住宅の省エネ性能向上と再生可能エネルギー活用を通じ、我が国のエネルギー需給構造の改善および温室効果ガス排出削減に資する施策である。政府は、第6次エネルギー基本計画において「2030年度以降に新築される住宅のZEH基準水準確保」を政策目標として掲げており、住宅分野におけるZEH普及は国家的な重点課題となっている。また、住宅は長期ストックとなる性質上、早期かつ継続的な脱炭素化への取り組みが求められている。

借入人は、2016年にZEHビルダーとして登録して以降、ZEH仕様住宅の普及に継続して取り組み、2019年度には当時の最高ランクである「5つ星ビルダー」として認定されるなど、高い実績と技術力を有する。この強みをさらに発揮し、ZEHの実装・普及を加速させることは、企業としての社会的責任を果たすとともに、中長期的な競争力強化にも資するものである。

以上より、本KPIは、カーボンニュートラル社会の実現に向けた政府の方針および社会のニーズに合致する、有意義な取り組みであるといえる。

【省エネ住宅の今後の基準】



(資料) 国土交通省ウェブサイトより抜粋



3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）の設定

本ローンのSPT設定については、以下の（1）から（3）の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

（1）SPTの概要

借入人は、KPIとして選定した「ZEH受託率」について、2027年3月期以降、毎年75%以上とすることをSPTとして設定した。

| 【借入人のSPT】 | 実績 | | | | 見込み | | | | 本SPTの対象 | (参考) 2031年 3月期 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------|----------------------|
| | 2023年 3月期 | 2024年 3月期 | 2025年 3月期 | 2026年 3月期 | 2027年 3月期 | 2028年 3月期 | 2029年 3月期 | 2030年 3月期 | | |
| ZEH受託率 (%) | 34 | 35 | 40 | 50 | 75 | 75 | 75 | 75 | 75 | 75 |

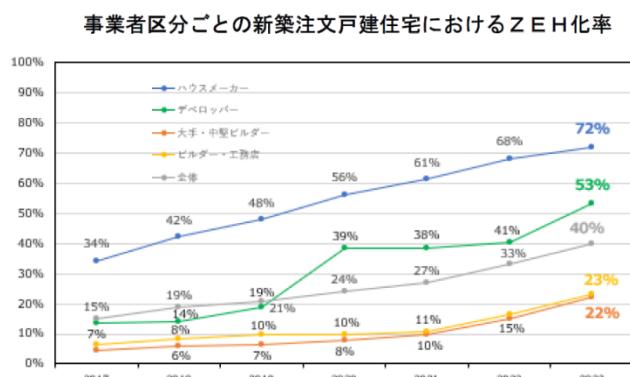
(注) 各期の判定期間は4月1日～3月31日。初回判定日は2027年3月31日。

（2）SPTの野心性

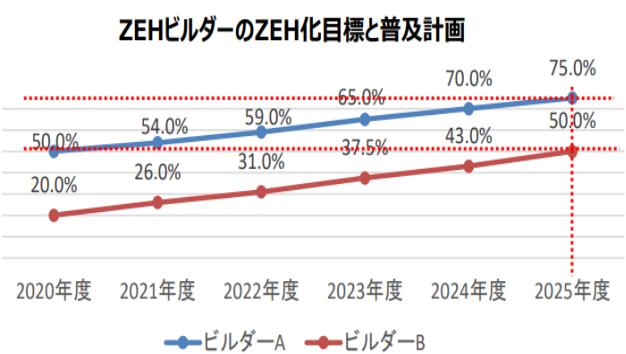
国内における2023年度のZEH化率は、借入人が該当する「ビルダー・工務店」で23%となっている。そのなかで、借入人は2023年3月期より3年連続で同水準を上回っている。

また、2021年度から「フェーズ2」の運用が開始された「ZEHビルダー／プランナー登録制度」においては、登録各社の目標として、「2020年度にZEH普及実績が50%未満の事業者（下図ビルダーB）は、2025年までにZEH化率50%以上」と高い基準が設定されている。

こうした状況のなか、借入人がSPTとして掲げる「75%以上」という数値目標は、十分に野心的であると判断する。



(資料) ZEH・ZEH-M委員会「ZEH・ZEH-Mの普及促進に向けた今後の検討の方向性について」



(資料) 経済産業省 令和5年3月「ZEHの普及促進に向けた政策動向と令和5年度の関連予算案」

（3）SPTの適切性

SPTの適切性については、第三者機関であるひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。



4. ローンの特性

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に取り組みについての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTの目標数値を達成すること。

(1) が遵守されている場合、(2) が未達でも、スプレッドは変わらない。(1) が遵守され(2) が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTは連動しているといえる。

5. レポート

評価対象の「レポート」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

(1) 貸付人への報告

借入人は、SPTの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

(2) 一般開示

借入人は、今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを、貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

6. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. 借入人とサステナビリティ」、「2. KPIの選定」、「3. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPT) の設定」、「4. ローンの特性」、「5. レポート」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビューおよびSPTとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは、評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人も、ひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。



ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 代表取締役社長 松内 紀子

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016



留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については、貸付人が借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。

その内容は、入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは、当文書のあらゆる使用から生じる直接的・間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 貸付人との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインは、ひろぎんグループに属しております、貸付人およびひろぎんグループ企業との間、およびひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客様の利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は、貸付人とは独立して行われるものであり、貸付人からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものではありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利は、ひろぎんエリアデザインが保有しています。本文書の全部または一部を、自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻訳、頒布等をすることは禁止されています。